

公益目的事業

**共通：熊本市現代美術館の管理運営業務 【平成29年度実績一覧】**

ア 美術館にずっと居たくなる交流・サービス業務

1 美術館の基本的な管理・運営業務（居場所づくり）

内 容	
美術館運営	美術館マネジメント 来館者案内・サービス・館内警備、入場者・入場料管理・分析等 朝礼（毎日）、職員ミーティング（週1）、館内スタッフ（月1）等による情報共有
	研修 5月11日 九州博物館協会総会 九州博物館協会 岩崎千
	10月4日 第37回文化財防虫防菌処理実務講習会 公益財団法人 文化財虫菌害研究所 杉谷
	10月19日 大都市文化行政会議 熊本市文化振興課 岩崎千
	1月9日 SUAC自治体文化財団マネジメントセミナー 公立大学法人 静岡文化芸術大学 文化庁補助事業プロジェクト 松本
	1月30日 ユニバーサル・デザイン研修会 九州産業大学 坂本・池澤・岩崎み・三浦
	2月19日 平成29年度文化財防災ネットワーク事業研修会 講師 独立行政法人 東京文化財研究所 富澤
来館者ニーズ調査・対応	来館者、電話、メールの問い合わせ等対応
	アンケート実施・集計・回答等 522件
	ナイストライ（職場体験）受け入れ 東野中学校2年生3人（2日間：7月5日-6日） 白川中学校2年生3人（2日間：9月27日-28日）
	インターンシップ受け入れ ルーテル学院大学1人（9月6日）
	ホームギャラリー管理・運営 開架書籍の整理 市民の問い合わせへの対応（レファレンス）
施設管理	キッズファクトリー、子育てひろばの管理・運営 子育てひろばの運営協力
	花壇（正面玄関外）の管理、苗の植え替え 県立熊本支援学校の生徒による花壇の苗の植え替え作業への協力（2回：6月1日、11月8日）
	施設貸出（予約・設備準備・支払等） ※収益事業再掲 会議研修室（582件） アートロフト（262件）
	施設・設備の管理、点検、修繕等 セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等 設備修繕（16件）
	美術館スタッフによるIPM 展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置によるモニタリング。 毎月の収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング（掃除機、ドライワイパー使用）。 収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測。 展示室（G I、G II）の展示期間中のデジタルロガー計測。

イ 美術館にもっと来たくなる交流・サービス□ □

1 情報発信

内 容	分 類	詳 細	
美術館や事業の広報	発信	美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付 熊本地震記録誌「地震のあとで - 美術館を、美術館として開ける。」の作成・配布
		展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
		ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等（レンタルサーバ含む） 熊本市現代美術館 <a href="http://www.camk.or.jp">http://www.camk.or.jp</a> 維持管理・変更・更新等（レンタルサーバ含む） 美術文化振興財団 <a href="http://www.kcac-pf.jp">http://www.kcac-pf.jp</a>
		twitter、facebook等	美術館のできごとをリアルタイムで発信・掲載
	提供	メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
		紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
		ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演等 エフエム791（週1回レギュラー）
		市政だより、市facebook等	記事提供

2 市民主体の交流・サービス（たまり場機能）

（1）ボランティア活動等（日常）

種 類	活 動 内 容	人 数（内訳）	合 計 人 数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	(42人)	215人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	(19人)	
資料整理	新聞等資料のチェック、切り抜き等	(15人)	
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	(36人)	
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	(60人)	
よみがたり	絵本などのよみがたり	(21人)	
イベント・展示作業補助	展覧会の作品展示作業補助、イベント補助等	(22人)	

（2）ボランティア研修等

研 修 等	活 動 内 容	開 催 日	参 加 人 数
総会①	CAMKEES総会（年度前半の活動内容について）	7月1日	31人
研修	新規登録ボランティア研修①	10月19日	8人
研修	新規登録ボランティア研修②	10月22日	15人
研修旅行	CAMKEES研修旅行（別府）見学	11月7日	24人
総会②	CAMKEES総会（年度後半の活動内容について）	12月14日	13人
新年会	CAMKEES新年会	1月18日	42人
合 計			133人

3 多様なジャンルのイベント

(1) 映画・映像イベント

種別	内容		開催日	参加人数
定例映画上映会	月曜ロードショー	毎週月曜 14:00-、17:00-の2回 上映権付の映画上映	51回/年（毎週月曜日）	4,647人
合計				4,647人

(2) 音楽・朗読イベント

種別	内容		開催日	参加人数
音楽イベント	ホームギャラリー ミニコンサート	毎日（19:00-19:30） ボランティアによるピアノ演奏	約300回/年（毎日）	4,500人
	熊本地震復活コンサート 袴田和泉と仲間たち	くまもと音楽復興支援100人委員会主催のクラシックコンサート	6月11日	120人
	「くまもと大邦楽祭」プレイベント ～古典邦楽のたのしみ～	「くまもと大邦楽祭2017」のプレイベント。熊本在住の演奏者が古曲を演奏。	9月30日	60人
	松本一哉「落ちる散る満ちる」リリースツアー 熊本公演	音楽家・打楽器奏者の松本一哉によるソロ演奏会	10月29日	40人
	熊本地震復興支援コンサート アンサンブルの喜び！	くまもと音楽復興支援100人委員会主催のクラシックコンサート	2月21日	120人
	オハイエくまもと第9回 とっておきの音楽祭	障がいのある人もない人も一緒に街中で音楽を楽しみ、音楽の力で「心のバリアフリー」を目指す音楽祭。	3月18日	170人
詩の朗読会	毎月テーマを決めて自作の詩を発表しあう詩の朗読会 (飛び入り参加も可)	第159回（テーマ：すてる・ひろう）	4月27日	8人
		第160回（テーマ：宇宙）	5月25日	7人
		第161回（テーマ：動物）	6月22日	9人
		第162回 (テーマ：彫る・刻む)	7月27日	11人
		第163回（いのち）	8月24日	9人
		第164回（物語）	9月24日	8人
		第165回（地震）	10月21日	7人
		第166回（未来）	11月25日	8人
		第167回（熊本城）	12月24日	11人
		第168回（希望）	1月25日	10人
		第169回（築く）	2月22日	10人
第170回（犬（戌））	3月22日	10人		
合計				5,118人

## (3) お楽しみイベント

種 別	内 容		開 催 日	参加人数
お楽しみイベント	人形劇『かちかち山』（劇団ぱれっと）		8月31日	116人
読みがたり	当館ボランティアによる 絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など	第91回 （テーマ：みんな元気）	4月15日	20人
		第92回 （テーマ：ありがとう）	5月20日	13人
		第93回 （テーマ：夏がくる）	6月17日	26人
		第94回 （テーマ：かわいいどうぶつ）	7月15日	16人
		第95回 （テーマ：おばけだぞ）	8月19日	35人
		第96回 （テーマ：なかよし）	9月23日	11人
		第97回 （テーマ：ハロウィン）	10月21日	22人
		第98回 （テーマ：みのりの秋）	11月18日	15人
		第99回 （テーマ：クリスマス）	12月9日	16人
		第100回 （テーマ：おめでと100回）	1月20日	38人
		第101回 （テーマ：あおむしは、おなかがいっぱい？）	2月17日	163人
第102回 （テーマ：おはながいっぱい）	3月17日	36人		
子育てひろば ワークショップ	親子で楽しむおもちゃ作り	身近な材料を使って、竹とんぼや笛、おもちゃなどを作るワークショップ	4月20日	17人
	親子でわくわく音楽おそび	親子で音楽を楽しむワークショップ	5月18日	32人
	親子でリフレッシュヨガ	親子でヨガをしてリフレッシュするワークショップ	6月23日	20人
	おはなし会を親子あそび	転入者とその子どもを対象に自己紹介やゲームで交流する、出会いの場づくり	7月20日	14人
	親子で楽しむおもちゃ作り	身近な材料を使って、竹とんぼや笛、おもちゃなどを作るワークショップ	8月24日	30人
	親子でわくわくリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ	9月21日	39人
	親子で楽しむアート	色紙や毛糸をつかって、いろいろな色や形を学ぶワークショップ	10月19日	19人
	親子ふれあい遊び	親子で体を動かし、ふれあいながら楽しむワークショップ	11月24日	29人
	親子で楽しむフラワーアレンジメント	親子で協力してフラワーアレンジメントに挑戦するワークショップ	12月21日	29人
	親子で楽しむアート	泥や粘土をつかって、いろいろな性質や技法を楽しむワークショップ	2月15日	28人
	英語であそぼう！ABC	親子で英会話を楽しむワークショップ	3月16日	18人
英語であそぼう！ABC	親子で英会話を楽しむワークショップ	3月23日	30人	
			合 計	832人

公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業 【平成29年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー（ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会）

(1) ギャラリーⅠ・Ⅱ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
高橋コレクションの宇宙	精神科医・高橋龍太郎氏によって収集された、1990年代以降の日本現代美術を主軸に据えたプライベートコレクションの中から36作家、約120点を紹介。	4月8日-6月11日（56日間）	8,655人
三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	樟の丸太から彫りだされた等身大の動物たち。日本を代表する現代彫刻家、三沢厚彦の生み出す動物たちは愛嬌たっぷりでありながら、圧倒的な存在感を放っている。最新作を含む彫刻作品と絵画、約100点を出品。	6月24日-9月3日（62日間）	20,839人
開館15周年記念 誉のくまもと展	熊本地震からの復興を示す展覧会として「熊本城」や「生人形」、「肥後六花」、「石牟礼道子」など熊本に因んだテーマに取り組んだコミッションワークから、最新の生人形研究成果まで幅広く紹介。国際的に活躍する現代美術作家14名と1グループが参加した。出品点数140点。	9月16日-11月26日（62日間）	8,244人
熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト展	特撮映画のプロフェッショナルたちが、熊本城及びその城下の街並みをミニチュア特撮の技で蘇らせるプロジェクト展。ミニチュアセットとともに、熊本城の過去・現在・未来や、県内他地域の状況も紹介。	12月16日-3月18日（75日間）	27,798人
第29回熊本市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募の展覧会。出品点数294点。	H30.3月31日-4月15日（14日間） うち3月31日分	448人
合 計			65,984人

※ 第29回熊本市民美術展については、エで再掲

2 小ギャラリー（ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー）における展覧会

(1) ギャラリーⅢ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
3.11→4.14-16 アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本	アートポリスの「みんなの家」、坂茂らによる「避難所用・紙の間仕切りシステム」、日比野克彦の「ハートマーク・ビューイング」、村上タカシの「宮城熊本 伝えるプロジェクト」、遠藤一郎「未来龍熊本大空凧」の5つのプロジェクトを軸に、東北等の災害時に生み出されたアートやデザインが、熊本でも新たなつながりを作り出す事例について紹介。	平成29年度分 4月1日-4月30日（26日間） (H29.3月1日-4月30日/53日間)	2,657人
熊本市被災文化財のいま	震災後の文化財保護の活動とその現状・課題を、写真や映像、実際の救出資料などを通して紹介。	5月4日-7月2日（52日間）	5,965人
有田巧 熊本日々展	フレスコ画による幻想的な画風で知られる有田巧が、水彩画で描く熊本の日常の景色。2010年から継続する本シリーズの作品を中心に展示。震災後の街並みを描いた新作も発表した。出品点数39点。	7月5日-8月27日（47日間）	8,267人
風を待たずに——村上慧、牛嶋均、坂口恭平の実践	自作した家を背負って歩いている村上慧のプロジェクト、廃棄された遊具を再利用する牛嶋均の作品、それらに坂口恭平の当館所蔵作品を加え、3人の作家の実践として紹介した。	8月30日-11月12日（65日間）	6,529人
熊本アートポリス みんなの家の展覧会	「くまもとアートポリス建築展2017」の関連事業。熊本地震後、仮設住宅団地には「みんなの家」という集会施設が整備された。仮設団地の入居者などが自らカメラを携え、「みんなの家」とともに過ごす日々の暮らしを記録した写真展。	11月17日-1月8日（41日間）	4,996人
arthorymen 2005-2018 展	自分の分身とも言えるゾンビ「HORYMAN」の活躍を、コマを拡大したマンガやドローイングなどの手法で描き続ける、熊本在住の「引きこもり系現代アーティスト」アートホーリーメン。2005年から現在に至る代表作を中心に紹介。出品点数230点。	1月13日-3月11日（50日間）	38,964人
熊本地震復興支援特別企画 丸沼芸術の森所蔵 アンドリュウ・ワイエス水彩画・素描展	熊本地震から2年目を迎えようとする節目に、「丸沼芸術の森」から文化的復興を目的とした支援を受け開催。アンドリュウ・ワイエスの水彩画・素描等からなる「オルソン・ハウス・シリーズ」より40点を抜粋展示。	平成29年度分 3月24日-3月31日（7日間） (H30.3月24日-5月6日：46日間)	1,424人
合 計			68,802人

## (2) 井手宣通記念ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
3.11→4.14-16 アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本	アートポリスの「みんなの家」、坂茂らによる「避難所用・紙の間仕切りシステム」、日比野克彦の「ハートマーク・ビューイング」、村上タカシの「宮城熊本 伝えるプロジェクト」、遠藤一郎「未来龍熊本大空風」の5つのプロジェクトを軸に、東北等の災害時に生み出されたアートやデザインが、熊本でも新たなつながりを作り出す事例について紹介。	平成29年度分 4月1日-4月30日：26日間 (H29.3月11日-4月30日/53日間)	2,657人
熊本市被災文化財のいま	震災後の文化財保護の活動とその現状・課題を、写真や映像、実際の救出資料などを通して紹介。	5月4日-7月2日 (52日間)	5,965人
収蔵作品展 「CAMK ANIMALS」	「三沢厚彦 ANIMALS in 熊本」にあわせて、収蔵作品より動物をテーマにした22作品を紹介。赤星宣利、有田巧、江島栄次郎、海老原喜之助、神野大光、長尾紀壽、藤田桃子、松本寛庸、水戸岡鋭治、吉野辰海、ZUBEの作品を展示。	7月5日-8月27日 (47日間)	8,267人
風を待たずに——村上慧、牛嶋均、坂口恭平の実践	自作した家を背負って歩いている村上慧のプロジェクト、廃棄された遊具を再利用する牛嶋均の作品、それらに坂口恭平の当館所蔵作品を加え、3人の作家の実践として紹介した。	8月30日-11月12日 (65日間)	6,529人
熊本アートポリス みんなの家の展覧会	「くまもとアートポリス建築展2017」関連事業。熊本地震後、仮設住宅団地には「みんなの家」という集会施設が整備された。仮設団地の入居者などが自らカメラを携え、「みんなの家」とともに過ごす日々の暮らしを記録した写真展。	11月17日-1月8日 (41日間)	4,996人
冬の展示 ユニバーサル・ミュージアム	当館の収蔵作品より、立体・彫刻の数点をさわって鑑賞することの出来る作品として紹介（指示する手袋着用）。出品点数10点。	1月11日-2月4日 (22日間)	2,879人
特別展示 エリック・カール展	熊本地震からの復興支援として、アメリカのエリック・カール絵本美術館所蔵の絵本原画を無料で公開。『はらぺこあおむし』をはじめ、12の絵本から50点の原画・作品を展示した。	2月10日-3月5日 (21日間)	34,756人
熊本城フォトコンテスト2017作品展	「熊本城フォトコンテスト2017」の入賞作品として選出された12点を展示。あわせて特撮熊本城展のミニチュアを撮影した「特撮熊本城フォトコン」応募作品と、熊本の復興プロモーションを目的とする「熊本城復興ポスター」の展示を同時開催。	3月8日-3月18日 (10日間)	2,463人
熊本地震復興支援特別企画 丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩画・素描展	熊本地震から2年目を迎えようとする節目に、「丸沼芸術の森」から文化的復興を目的とした支援を受け開催。アンドリュー・ワイエスの水彩画・素描等からなる「オルソン・ハウス・シリーズ」より40点を抜粋展示。	平成29年度分 3月24日~3月31日 (7日間) (H30.3月24日~5月6日：39日間)	1,424人
合 計			69,936人

## 3 エントランス・階段ギャラリー等における展覧会

## (1) エントランス

展覧会名	展覧会内容	期間
NHK熊本×熊本地震「熊本地震 被災地からの声」パネル展	熊本地震から1年を迎えるにあたり、県内各地で被災された方の思いをより多くの方に知っていただくため、NHK「クマロク！」番組内『熊本地震 被災地からの声』で取り上げた“声”を、写真やコメントとともに展示するパネル展。	平成29年度分 4月1日-4月16日 (14日間) (H29.3月23日-4月16日：22日間)
アーツカイギャラリー my home town わたしのマチ オモイ帖 熊本・大分展	マチオモイ帖は、日本全国のクリエイターたちが「大事なマチ」を想い、日本各地に眠る無数の価値を、冊子や映像、ポストカードにして紹介。	4月19日-4月23日 (5日間)
今田淳子「HIGO ROCK! HIGO ROCCA!」第6弾 肥後芍薬	「誉のくまもと」展イベントとして、今田淳子が「肥後六花」を制作する作品展示第6回目（最終回）。	5月10日-6月5日 (24日間)
熊本城天守閣1/10模型展示	熊本城天守閣の修復工事にともない、天守閣内に設置されていた1/10サイズの熊本城天守閣の木軸模型を館内で展示。	6月16日- (243日間)
日台交流サミット関連企画 熊本市被災文化財パネル展示	「日台交流サミットin熊本」に合わせて、熊本地震発生後の熊本市内文化財の状況を紹介するパネル展示を実施。	8月20日-8月25日 (5日間)
蛇口のある風景 フォトコンテスト	熊本市上下水道局が主催した「蛇口のある風景フォトコンテスト」の入賞作品を展示	10月4日-10月20日 (16日間)
誉のくまもと	「誉のくまもと」展関連イベントとして開催された、今田淳子の公開制作+ワークショップ「肥後六花の巨大ドレスをつくろう」の成果品を展示。	10月12日-11月26日 (40日間)
NHK×熊本城 (特撮熊本城展関連展示)	特撮熊本城展に関連して、NHK熊本放送局が制作した熊本城VR、熊本城番組、パネルなどを展示。	12月16日-3月18日 (75日間)

## (2) 階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間
全国友の会 幼児生活団〈熊本〉	幼児生活団〈熊本〉の活動の中で作られた造形作品等の展示。	7月26日-8月27日 (29日間)
熊本大学教育学部附属 特別支援学校 中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品の展示。	12月16日-1月12日 (20日間)
熊本大学と東町中学校との コラボレーション展示	熊本大学美術教育専攻に通う大学院生と東町中学校の生徒のコラボレーション授業の成果展。	2月18日-3月25日 (25日間)

## イ コンサート、パフォーマンス等

## 1 ホームギャラリーや街なか（商店街等）における公演

## (1) 公開制作

演題	展覧会	内容	開催日	参加者数
今田淳子 公開制作	誉のくまもと展	今田淳子による肥後六花の女神像の公開制作。ワークショップと同時開催。	10月12日	300人
合計			1回	300人

## (2) 作品上映会

演題	展覧会	内容	開催日	参加者数
ひろしま 石内都・遺されたものたち Things Left Behind	誉のくまもと展	出品作家石内都のドキュメンタリー映画。当館収蔵映像資料 (DVD) の上映。	9月23日	25人
			10月28日	40人
			11月23日	40人
エリック・カール コレクション はらぺこあおむし	特別展示 エリック・カール展	エリック・カールの人気絵本5作のアニメーション。当館収蔵映像資料 (DVD) の上映。	2月25日	600人
合計			4回	705人

## (3) パフォーマンス

演題	展覧会	内容	開催日	参加者数
KKTアナウンサー読み聞かせ おとどけえほん特別版	特別展示 エリック・カール展	KKTくまもと県民テレビのアナウンサーによる、エリック・カールの絵本の読み聞かせ。	2月21日	200人
合計			1回	200人

## ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等

## 1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

## (1) レクチャー・カレッジ

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
高橋コレクション概論	高橋コレクションの宇宙	池澤茉莉 (当館学芸員)	「高橋コレクション」はどのようにして形成されたのか、概要を紹介。	4月23日	51人
三沢厚彦展について	三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	坂本顕子 (当館学芸員)	「三沢厚彦 Animals in 熊本」展について、出品作品を中心にスライドを使いながらわかりやすく解説。	8月6日	30人
誉のくまもと展について	誉のくまもと展	富澤治子 (当館学芸員)	展覧会と地震の関係、出品作家紹介、コミッションワーク制作までの作家達とのやり取り、ドキュメント紹介、展覧会各セクションの見どころなどをスライドで解説・紹介。	10月22日	30人
やりすぎる人々 -エスカレート列伝-	特撮熊本城展	佐々木玄太郎 (当館学芸員)	展覧会のプレミアムナイトツアー前半部分のレクチャーとして、特撮熊本城のセット完成までの過程と、展覧会に関わった人々のそれぞれのこだわりを紹介。	1月13日	35人
合計				4回	146人

## (2) アーティスト・トーク

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
絵の話	高橋コレクションの宇宙	坂本夏子 (出品作家)	作家自身のこれまでの体験や制作への思考方法などについて、メモやスケッチも交えながらのトーク。	4月8日	67人
[特撮熊本城展プレイベント] 特撮美術監督・三池敏夫 講演会	特撮熊本城展	三池敏夫 (特撮研究所)	特撮美術の専門家が、特撮の歴史と技術を語るトーク。	5月7日	140人
三沢厚彦(彫刻家) × 寺田農(俳優)	三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	三沢厚彦(彫刻家) 寺田農(俳優)	三沢氏と親交が深く、美術にも深い造詣を持つ俳優の寺田農氏を迎え、三沢作品の魅力やアートについて広く語るトーク。	6月24日	50人
有田巧によるアーティストトーク	有田巧 熊本日々展	有田巧 (出品作家)	「熊本日々」シリーズ開始のきっかけ、制作への想い、水彩画という技法の魅力を語る講演会。展示作品へのコメントが語られた。	7月9日	30人
「がんばれアニマルズ」スペシャル・ギャラリートーク	三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	上野明日香(熊本市動植物園獣医師)、坂本顕子(当館学芸員)	動植物園の獣医師と学芸員がベアになり、獣医師は動物の生態について、学芸員は造形について語るトーク。	8月20日	40人
村上慧と牛嶋均	風を待たずに——村上慧、牛嶋均、坂口恭平の実践	村上慧、牛嶋均 (出品作家)	各作家が制作活動やそれに対する考えを自ら話した後、展覧会会場にて出品作品について語るトーク。	9月1日	35人
オープニングアーティストトーク「写真で表現することについて」	誉のくまもと展	宮島達男、石内都、石川直樹 (出品作家)	各作家の最近の活動、代表作や最新作などをスライドで紹介。アーティストを志すきっかけや写真表現についての考えなどを講演。	9月16日	100人
寺田克也 ミニトーク	誉のくまもと展	寺田克也 (出品作家)	熊本での公開制作の感想、今回の出品作品の仕立て、日頃の作品制作に対しての考え方などについての講演。	9月18日	38人
秀島由己男『春の城』挿絵を語る	誉のくまもと展	秀島由己男(出品作家)	秀島の《春の城》挿絵担当のきっかけ、制作にあたっての姿勢を語る講演。展示中の個々の作品をきっかけに制作秘話が語られた。	11月12日	20人
[特撮熊本城展プレイベント] 特撮美術監督・三池敏夫 講演会	特撮熊本城展	三池敏夫(特撮研究所)	特撮美術の専門家が、特撮の歴史と技術を語るトーク。特撮熊本城展のミニチュア製作の中間報告も。	11月18日	100人
ベチャクチャイベント in 熊本 熊本のいま、そして	熊本アートポリスみんなの家の展覧会	アストリッド・クライン(建築家) 展覧会の写真撮影者、復興支援にかかわる人々	「熊本のいま、そして」をテーマに、熊本地震による被災地の現状を伝える。登壇者は、1枚につき20秒、20枚のスライドで発表するという形式。	12月2日	30人
特撮熊本城展 オープニング記念トーク	特撮熊本城展	三池敏夫(特撮研究所)、岩崎憲彦(マーブリングファイナーーツ)	「天守再現プロジェクト」で中心的役割を果たした二人が、ミニチュアセット完成までの道のりを語るトーク。	12月16日	100人
アートホーリーメンによるアーティスト・トーク	arthorymen 2005-2018 展	アートホーリーメン (出品作家)	出品作家が自身の作品・活動について紹介するトーク。	1月13日	30人
特撮美術監督・三池敏夫 講演会&ギャラリートーク	特撮熊本城展	三池敏夫(特撮研究所)	ミニチュアセット製作の過程を振り返るトーク。	2月10日	80人
合計				14回	860人



## (3) 講演会

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
市内文化財の現状と復旧の見通し	熊本市被災文化財のいま	丹後田秀幸、松永直輝（熊本市文化振興課職員）	熊本市文化振興課の担当職員による、熊本地震で被災した熊本市内の文化財の現状についてのトーク。	5月13日	30人
文化財レスキューの現場	熊本市被災文化財のいま	木山貴満（熊本市立熊本博物館学芸員）	熊本博物館の学芸員による、熊本地震後の文化財レスキュー事業についてのトーク。	5月27日	30人
熊本市動植物園はいま	三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	上野明日香（熊本市動植物園獣医師）	熊本地震で甚大な被害を受けた動植物園の状況や、動物たちの様子についてのトーク。	8月20日	40人
丸沼芸術の森代表 須崎勝茂による特別トーク	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩画・素描展	須崎勝茂（作品所蔵者）	丸沼芸術の森開設のきっかけや、コレクションへの思いなどについての講演会。ワイエスの「オルソン・ハウス・シリーズ」購入秘話などが語られた。	3月24日	45人
丸沼芸術の森 ワイエス担当学芸員によるギャラリー・トーク	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩画・素描展	中村音代（丸沼芸術の森 ワイエス担当学芸員）	担当学芸員ならではの写真や資料を用いた出品作品についてのギャラリートーク。	3月24日	50人
審査員講演会	熊本アートパレード	山本太郎（ニッポン画家）	アートパレード（市民美術展）の作品講評と、山本太郎氏自身の活動についての講演。	3月31日	40人
合 計				6回	235人

## (4) プレママ&amp;ファミリーツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
高橋コレクションの宇宙	5月13日	坂本顕子（当館学芸員）	0～6歳の子どもと大人、または妊娠中の方と家族や友人のみなさんと一緒に楽しむツアー。	16人
三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	7月1日	坂本顕子（当館学芸員）		43人
誉のくまもと展	9月30日	坂本顕子（当館学芸員）		3人
特撮熊本城展	1月20日	坂本顕子（当館学芸員）		5人
合 計	4回			67人

## (5) ナイトツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
高橋コレクションの宇宙	5月27日	池澤茉莉（当館学芸員）	近くに勤めていても、夜まで仕事で美術館に足を運ぶ機会のない中央商店街の方々のための閉館後（20時以降）の特別ツアー。	11人
	6月1日	池澤茉莉（当館学芸員）		12人
三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	8月16日	坂本顕子（当館学芸員）		20人
	9月12日	坂本顕子（当館学芸員）		38人
誉のくまもと展	11月11日	富澤治子（当館学芸員）		5人
	11月15日	富澤治子（当館学芸員）		13人
特撮熊本城展	1月27日	佐々木玄太郎（当館学芸員）		38人
	1月31日	佐々木玄太郎（当館学芸員）		35人
合 計	8回			172人

## (6) ギャラリー・トーク

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
高橋コレクションの宇宙	5回/会期中	当館学芸員	学芸員が展覧会場を案内するツアー。	74人
誉のくまもと展	5回/会期中			43人
三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	5回/会期中			110人
特撮熊本城展	8回/会期中			180人
	1回/会期中			熊本城おもてなし武将隊
合 計	24回			467人

エ 公募による展覧会

- 1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第29回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも出品することができる公募展。 審査員：山本太郎氏（ニッポン画家） 出品総数：294点	H30. 3月31日-4月15日（14日間） （うち、3月31日分）	448人

オ 災害復興支援事業

- 1 災害が発生した際、公1事業の収益を活用し、当財団から被災地の自治体等へ支援や寄附を実施。

寄付先	寄付日	寄付内容	寄付金額
熊本市	1月26日	熊本地震で被災された方々の暮らしを一日も早く再建するため、熊本地震復旧・復興寄付金として熊本市へ寄付。	20,000,000円
熊本県	2月20日	熊本地震で被災された方々の暮らしを一日も早く再建するため、ふるさとくまもと応援寄付金として熊本県へ寄付。	5,000,000円
福岡県	3月1日	平成29年九州北部豪雨で被災された方々の暮らしを一日も早く再建するため、九州豪雨災害支援寄付金として福岡県へ寄付。	1,000,000円
合計	3回		26,000,000円

公益目的事業

公2：美術館等における文化芸術の調査研究等事業 【平成29年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
美術館・文化芸術全般について	チェルフィッチュの映像演劇
	蜷川実花
	上海芸術
	村上隆の陶芸コレクション
九州又は熊本ゆかりの作家について	田中栄一、有田巧ほか
熊本ならではの文化や歴史について	生人形、菊池恵楓園 ほか
市収蔵作品、他館からの借用作品について	市収蔵作品（井手宣通ほか）についての調査研究
	三沢厚彦展・菅のくまもと展・特撮美術展出品作品等の調査

公表方法	実 績		
展覧会、講演、紀要・論文等	次年度以降開催の展覧会及びそれに伴う講演会等		
	熊本市現代美術館2016年度年鑑【アートガマダスVol.16】発行		
	熊本地震記録集の発行		
ホームページ等（市収蔵作品）	ホームページによる公開	1,492点	
展示公開、貸出、特別利用（市収蔵作品）	熊本市現代美術館における展示公開	58点 ※ 公1-ア-2に詳細を記載	
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	徳久崇	2点 いやしぶた「3号」
		山本太郎	熊本ものがたりの屏風 子供の思い出銀揉紙屏風
	特別利用（熟覧・撮影等）	0点（熟覧）、0点（撮影）	
	作品画像貸出件数	安本亀八《相撲生人形》	5件
		ミロヴァン・マルコヴィッチ《変貌 アウン・サン・スーチーの肖像画》	1件
		エネ・リス・ゼンパー《Licked Room》	1件
マリーナ・アブラモヴィッチ《ピエタ》		1件	
松本寛庸《サグラダファミリア》		1件	
	草間彌生《早春の雨》	1件	
館内での閲覧（図書資料等）	ホームギャラリー、アートスカイギャラリー、キッズサロンにおける閲覧		
借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供		

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内 容		点 数 等	
作品管理	市収蔵作品の管理・保管（貸出はアの公表方法に記載）	1492点	
	市収蔵作品購入予備調査及び報告	新規作品 2点（購入）・4点（寄贈）	
	作品データ管理・整備	公開作品 1,492件	
図書資料管理	図書資料等の収集	開架用書籍（絵本、漫画等含む）	227冊
		刊行物	31冊
		研究書（展覧会企画、調査等に利用）	48冊
		映像資料	14本
図書装備	装備	0冊	85冊
	コーティング	85冊	
図書資料データ管理	図書資料データ管理	一般図書（絵本、漫画等含む）	27,838件
		逐次刊行物	269件
		映像資料（CD等含む）	2,024件
		30,131件	

公益目的事業

**公3：美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業 【平成29年度実績一覧】**

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1) ワークショップ

展覧会	開催日	タイトル	講師等	内容	参加者数
アート・建築・デザインでつながる東北⇄熊本	4月1、9、15日	未来龍熊本大空凧	遠藤一郎 (未来美術家)	凧に復興への願いを書いて大空にあげるワークショップ	100人
高橋コレクションの宇宙	4月29日	現代美術は怖くない！くじびき制作で誰でもアーティスト	青山悟 (アーティスト)	くじに書かれたお題に従って、作品を制作してみるワークショップ	15人
熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト展	5月6日	「特撮雲」製作・撮影ワークショップ	三池敏夫 (特撮研究所)	特撮の現場で使われる青空ホリゾンと雲海を製作し、撮影を行うワークショップ	30人
三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	7月16日	「がんばれアニマルズ」動物の顔はめ看板で遊ぼう	アド (絵描き)	動植物園内に設置する動物の顔はめ看板に足跡スタンプを押ししたり、写真を撮って楽しむワークショップ	100人
三沢厚彦 ANIMALS in 熊本	7月22日	木彫ワークショップ	三沢厚彦 (彫刻家)	三沢厚彦さんの指導のもと、樟でアニマルズをつくるワークショップ	17人
有田巧 熊本日々展	7月9日	水彩画ワークショップ「オバケを描こう」	有田巧 (出品作家)	「オバケ」をテーマに色紙に水彩絵の具で描くワークショップ。絵の具の特性を活かした描写方法についての指導が行われた	15人
誉のくまもと展	10月12日	肥後六花の巨大ドレスを作ろう	今田淳子 (出品作家)	折り紙で肥後六花のオリジナル切り絵を作るワークショップ。切り絵は今田が同じ場所で即時で公開制作する女神像のドレスの素材として使用された	300人
風を待たずに——村上慧、牛嶋均、坂口恭平の実践	11月11、12日	モバイルハウス計画へ転がる！	牛嶋均 (出品作家)	会場に展示している作品を持ち出し、近隣商店街の空き地まで転がして再構成するワークショップ。空き地は2日間限定のサテライト会場として運営	146人
熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト展	11月19日	「特撮熊本城展イベント」ミニチュアセット製作・撮影ワークショップ	三池敏夫 (特撮研究所)	ミニチュアのビルを使って街並みのセットを組み上げ、撮影を行うワークショップ	20人
熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト展	12月6-14日	ミニチュアセット製作インターン	三池敏夫 (特撮研究所)、マブリングファインアーツスタッフ	特撮熊本城展で展示する市街地のミニチュアセット製作の補助作業	44人
くまもとアートポリス みんなの家 の 展覧会	12月16日	こども建築塾 こんな「みんなの家」があったらいいな	アストリッド・クライン (建築家)	災害公営住宅の敷地にどんな「みんなの家」があったらいいか、模型を作って考えるワークショップ。対象は県内の小学校4～6年生	19人
くまもとアートポリス みんなの家 の 展覧会	12月17日	こども建築塾 こんな「みんなの家」があったらいいな	アストリッド・クライン (建築家)	災害公営住宅の敷地にどんな「みんなの家」があったらいいか、模型を作って考えるワークショップ。対象は県内の小学校4～6年生	20人

ユニバーサル・ミュージアム	2月3日	さわるギャラリーツアー	坂本顕子 (当館学芸員)	収蔵作品をさわって鑑賞するワークショップ	6人
熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト展	2月10日	「熊本城を撮る！」撮影ワークショップ	三池敏夫 (特撮研究所)	1/20熊本城と城下の街並みのミニチュアセットを使って特撮ならではの撮影を体験するワークショップ	30人
arthorymen 2005-2018展	2月17日	カッティングシートでカッコいい光線をつくろう	アートホーリーメン (アーティスト)	カッティングシートを使って館内にアートな空間をつくりだすワークショップ	17人
特別展示 エリック・カール展	3月3日	こどものためのワークショップ カールさんの絵本の作り方 コラージュをやってみよう！	長崎書店スタッフ、 当館スタッフ	長崎書店との共同企画。3歳から小学校低学年を対象に、エリック・カール特有の技法「コラージュ」を体験してもらうワークショップ。借成社提供の「はらぺこあおむしワークショップキット」を使用	46人
特別展示 エリック・カール展	3月4日	大人のためのワークショップ フルーツ&野菜スタンプでブックカバーを作ろう！	長崎書店スタッフ、 Miko (テキスタイル・デザイナー)	長崎書店との共同企画。18歳以上が対象。講師が普段より展開している、カットした野菜やフルーツを布にスタンプする制作方法でブックカバーを作るワークショップ	27人
第29回 熊本アートパレード	3月31日	アートのお悩み何でも相談室	坂本顕子、富澤治子、 佐々木玄太郎、岩崎美千子 (当館学芸員)	当館学芸員が、アートパレード出品者を中心にアートのお悩み相談にのる企画	7人
合計	21回				959人

(2) 市民公募型作品制作

展覧会	開催日	演題	講師等	内容	参加者数
誉のくまもと展	11月4日	大人向け参加型アートイベント 鈴木淳「『似木絵』どうですか、ふたたびたび」	鈴木淳 (出品作家)	作家が希望者と会話しながらその人に似た木の絵を描く。絵は持ち帰り可能。	24人
合計	1回				24人

2 美術館ツアー、出張授業等

1) 美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

(1) 団体案内

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	13団体	347人
小学校	33団体	691人
中学校	18団体	283人
高校	19団体	554人
大学	7団体	139人
専門学校	7団体	411人
一般	30団体	338人
合計	127団体	2,763人

## (2) 視察

団体名	開催日	市担当課等	内 容	参加者数
九州博物館協会	5月12日	—	美術館概要、地震報告	40人
全国政令市課長会議	7月6日	熊本市生涯学習課	美術館概要、地震報告	30人
蔚山市学生	8月14日	熊本市文化振興課	美術館概要	17人
大都市文化行政会議	10月20日	熊本市文化振興課	美術館概要、地震報告	40人
相模原市議会	1月17日	熊本市議会事務局	美術館概要、地震報告	1人
合 計	5回			128人

## 2) 美術館をより身近に感じてもらうための活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

## (1) アートプログラム

種 別	開催日	対象者	内 容	参加者数
出張授業	5月18日、23日、 7月11日、13日	熊本デザイン専門学校	美術館や展覧会に関する学芸員の出張授業	120人
田口和代陶芸ワーク ショップ	5月27日	就労移行支援事業所あす らい	陶芸作家、田口和代氏と一緒にフリーカップを作る ワークショップ	18人
美術サロン	6月29日 11月2日	県職員等文化関係者	桜井館長による文化芸術等講義	20人
今田淳子ワークショッ プ「土で表現しよう」	7月6日、9月19日	熊本聾学校	アーティスト今田淳子氏による陶土をつかったワー クショップ	15人
田口和代陶芸ワーク ショップ	8月2日	塚原仮設団地自治会	陶芸作家、田口和代氏と一緒にフリーカップを作る ワークショップ	30人
出張レクチャー	9月26日	大和日英基金（ロンドン）	桜井館長による文化芸術等講義	100人
美術講演会	10月28日	熊本県美術家連盟会員およ び一般来場者	誉のくまもと展企画内容と見どころを紹介する講演 会	60人
レインボーマン ワークショップ 「虹色大作戦」	11月2日	麻生田小学校5年生	アーティスト・レインボー岡山氏と一緒に、体育館 の中に親子で虹をかけるワークショップ	110人
県劇秋のアートデー 「みんなで描こう大江 の森」	11月3日	熊本県立劇場	イラストレーターのコーダヨーコ氏の熊本県立劇場 の仮囲いに絵を描くワークショップ	30人
「芸術文化考」 レクチャー	11月7日 11月10日	熊本大学（1年-4年）	美術館や現代美術、ほまれの熊本展に関する講義	200人
今田淳子ワークショッ プ「テラコッタで愛し ているをつくらう！」	11月24日	川口小学校3-6年生	テラコッタを使って、ペットや家族、お気に入りの ものなど、自分の「愛している」をつくるワー クショップ	50人
レインボーマン ワークショップ 「虹色大作戦」	1月16日	田迎南小学校4年生	アーティスト・レインボー岡山氏と一緒に、体育館 の中に親子で虹をかけるワークショップ。	120人
田口和代陶芸ワーク ショップ	1月27日	城北小学校6年生	陶芸作家、田口和代氏と一緒にフリーカップを作る ワークショップ	99人
合 計	19回			972人

## (2) アートバス

種 別	開催日	学校・学級	内 容	参加者数
鑑賞 ワークショップ	7月7日	芳野小学校（1-2年）	探検ツアーと三沢展鑑賞、紙粘土で動物をつくる ワークショップ	32人
鑑賞	7月19日	西原小学校（2年）	探検ツアーと三沢展鑑賞	111人
鑑賞	10月20日	川口小学校（1-2年）	探検ツアーとほまれ展鑑賞	27人
鑑賞 ワークショップ	12月18日	田迎南小学校ひまわり学級	探検ツアーと特撮展鑑賞、ブラックライトワー クショップ	31人
鑑賞 ワークショップ	12月22日	吉松小学校（3年）	探検ツアーと特撮展鑑賞、今田淳子ワークショッ プ	34人
鑑賞 ワークショップ	2月16日	杉上小学校（5年）	探検ツアーと特撮展鑑賞、林浩ワークショップ	68人
合 計	6回			303人

## (3) アウトリーチ

種別	開催日	学校・学級	内容	参加者数
邦楽	9月7日	弓削小学校(1年生)	能楽ワークショップ	54人
クラシック	9月8日	豊田小学校(全学年)	声楽ワークショップ	244人
クラシック	9月20日	川尻小学校(全学年)	声楽ワークショップ	498人
邦楽	9月29日	日吉小学校(全学年)	現代邦楽コンサート	422人
邦楽	10月26日	桜山中学校(全学年)	太鼓ワークショップ	160人
クラシック	10月27日	春竹小学校(1・3・5・6年)	弦楽アンサンブルコンサート	420人
クラシック	11月1日	楠小学校(全学年)	声楽ワークショップ	278人
クラシック	11月29日	健軍東小学校(全学年)	弦楽アンサンブルコンサート	295人
邦楽	12月1日	託麻北小学校(3-6年生)	現代邦楽コンサート	301人
邦楽	12月5日	高平台小学校(3-6年生)	現代邦楽コンサート	400人
その他	12月7日	北部中学校(全学年)	学校オリジナル企画講座(ヴァイオリン)	671人
体現	12月12日	山本小学校(全学年)	表現ワークショップ	85人
クラシック	12月15日	健軍東小学校(全学年)	弦楽アンサンブルコンサート	628人
体現	12月18日	城南小学校(3年生)	フラメンコワークショップ	48人
邦楽	12月19日	カ合西小学校(全学年)	民謡と邦楽ワークショップ	573人
邦楽	1月19日	城北小学校(5年生)	邦楽ワークショップ	82人
邦楽	1月22日	西里小学校(4年生)	民謡と邦楽ワークショップ	65人
邦楽	3月8日	城山小学校(4年生)	民謡と邦楽ワークショップ	125人
合計	18回			5,349人

## (4) その他

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
情報交換	5月19日	熊本県高文連美術部会	2017年度に展覧会に関するPR	50人
合計	1回			50人

## イ 地域文化芸術活動支援□□

## 1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
音楽	7月27日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	JAZZ OPEN 2017 中心商店街各所でおこなわれるJAZZの祭典。美術館では、ベテラントリオとヴォーカリストが出演	300人
音楽	10月14日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	Great Composer Memorial Series フレデリック・ショパン 熊本在住の若手演奏家によるショパンの曲のコンサート	50人
音楽・ダンス	10月14日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	EXTRAVAGANZA2017 ~PANDEMONIUM CITY~ 中心市街地各所で各種パフォーマンスを行うイベント。美術館では、クラシック演奏と舞踏パフォーマンスを実施。	50人
パフォーマンス	3月11日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	大道芸 2018 中心商店街各所でおこなわれる大道芸イベント。美術館では、読み語りと舞踏系のパフォーマンスを実施	70人
合計	4回			470人

## 2 フリーペーパーの発行等

内容	詳細
アート・キッス・レター	美術館の活動報告、今後のイベント情報等を掲載 通年で4号(81-84号)発行

3 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築（アートでつながる交流・連携）□

- 1) 行政とともに行政推進・補充のための政策課題の解決  
 2) 市民とともに行政分野（まちづくり、福祉、教育等）の課題解決  
 (1) 文化活動支援

種別	開催日	連携機関	内容
アートイベント開催へのアドバイス	6月28日、9月19日	ギャラリーM	中心市街地での若手アーティストを支援するアートイベント開催に関する助言
アーティスト・イン阿蘇への運営協力	8月7日		世界中から選ばれたアーティストが、7町村に滞在して作品制作をする事業への指導、審査（8月7日）。
熊本県立劇場運営あり方委員会	4月25日	熊本県文化企画世界遺産推進課	熊本県立劇場の在り方と、今後の運営に関する検討
	6月9日		
	8月28日		
	11月22日		
くまもと大邦楽祭	4月24日		くまもと大邦楽祭実行委員会（熊本市・熊本県文化協会）への協力
	9月15日		
	2月23日		

(2) ネットワーク構築

種別	開催日	連携機関	内容
熊本県立美術館友の会	—	県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営
美術館連絡協議会	5月18日	全国公立美術館	理事会
	7月11日		企画委員会
	10月26日		総会
	2月16日		審査委員会
	3月20日		企画委員会
熊本県文化協会	5月10日	県内の文化関係団体と市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業
	5月30日		
	8月2日		
	9月5日		
	11月20日		
	3月22日		
全国美術館会議総会	5月25日	全国美術館会議	全国の美術館責任者との総会
地域文化創造協議会	10月3日	熊本市文化振興課	熊本市内の文化ホール、旧四町の文化協会による熊本市の文化事業に関する協議会
	3月27日		
熊本城周辺施設連携会議	3月7日	県下博物館・美術館 県市町村文化財課	熊本城周辺の文化施設による連携会議

(3) 審査・表彰

審査対象	開催日	主催者	内容
アーティストin阿蘇	8月7日	熊本県	阿蘇地域を国際的にPRするための若手芸術家レジデンス事業
八朔祭出品作品	9月3日	山都町八朔祭実行委員会	八朔祭に出品されたつくりものの審査
障がい者週間ポスター	9月15日	市障がい保健福祉課	障がい者週間ポスター（中学生の部・小学生の部）の応募作品の審査
第14回田山淳朗賞高校生ファッション画コンテストin九州・沖縄	10月14日	ヒロ・デザイン専門学校	熊本出身のファッションデザイナー田山淳朗氏を審査員に迎え、九州・沖縄の高校生を対象にしたファッション画コンクールへの協力・講評・表彰等
熊本県高等学校美術展	10月30日 11月5日	熊本県高等学校教育研究会 美術、工芸部会	九州大会や全国大会の選考も兼ねた熊本県内の高校生の美術作品審査・表彰
くまもと県民文化賞	11月9日 12月14日	熊本県	地域の文化振興に貢献している活動者の選考審査・授賞式
合計	8回		



## (4) まちづくり協力

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容	参加者数	
城下町くまもと ゆかた祭	5月25日	中心商店街等連絡協議会	中心商店街の賑わい創出のために実施されている 城下町くまもとゆかた祭開催に向けた会議 (8月16日は反省会)	—	
	6月30日			—	
	8月16日			—	
城下町くまもと 銀杏祭	7月29日-30日	中心商店街等連絡協議会	本番 ・ゆかたで来館の方に展覧会半額等サービス ・おばけ屋敷同時開催	2,795人	
	9月13日			—	
	9月27日			—	
こどもおもしろおばけ 屋敷	10月7-8日	火の国まつり実行委員会 (市イベント推進課)	中心商店街の賑わい創出のために実施されている 城下町くまもと銀杏祭開催に向けた会議 本番	—	
	7月27日- 8月6日			火の国まつりの開催にあわせ、街なかの賑わい創 出のために実施したおばけ屋敷の準備、運営等に 協力	2,478人
日台交流サミット	8/23-24	熊本市議会事務局	8月22日-24日に開催された日台交流サミットに 合わせて、展覧会の割引きと、台湾映画の上映会 を開催。	100人	
みんなの熊本城 プロジェクト	6月15日	熊本市政策企画課 熊本城総合事務所 熊本大学政策創造教育研究 センター	熊本城の歴史と復旧方針について市民に正しく 知ってもらい、熊本城の未来について一緒に考え るプロジェクトの開催に向けた会議。 オープンハウス・ワークショップ シンポジウム	—	
	6月26日			—	
	7月21日			—	
	8月27日			—	
	1月28日			—	
地球の声を聴く展 アーティスト・トーク	8月28日	熊本日日新聞・新聞博物館	新聞博物館で行われた熊本地震をテーマにした アート展示でのシンポジウム登壇	35人	
東京キャラバン in 熊 本	4月21日	東京都、アーツカウンシル 東京 熊本県、熊本市 熊本県立劇場	東京都、アーツカウンシル東京により全国を巡回 している東京キャラバンを熊本に招聘。熊本側の 事務局として県・市・県立劇場との本番開催に向 けた会議 本番	—	
	9月14日			—	
	9月27日			—	
	10月6日			—	
	10月9日-15日			—	
上通 アートプロジェクト 瀧下和之×上通商店街 「鬼たちと！熊本城の 石垣復興を応援しよ う！」	6月1日 9月10日 9月27日	上通商栄会	上通アートプロジェクト打ち合わせ  熊本出身で「誉のくまもと」展出品作家の瀧下和 之とともに、上通アーケードで熊本城の復興を応 援するイベントを企画。復興支援サイン会やオリ ジナルステッカーの販売を行い、収益金は熊本城 復興基金へ募金する。	—	
	10月7日~11月26日			商店街ショーウィンドウに瀧下の鬼のポスターを 掲出。該当店舗で1000円以上買い物をする「桃 太郎図いろはカルタ」がもらえる。	—
	10月7日			熊本城へのメッセージやイラストを描いてもら うワークショップとステッカー販売。	200人
	10月8日			熊本城へのメッセージやイラストを描いてもら うワークショップとステッカー販売。瀧下による復 興支援サイン会。	
菊池アートフェスティ バルin竜門アートを アーティスト・トーク	11月26日	菊池アートフェスティバル 実行委員会	竜門ダムそばの廃校を利用して実施されるアート プロジェクトのアーティストトークでの講評	50人	
ヘリテージマネー ジャー講習会	2月10日	熊本県建築士会	ヘリテージマネージャー資格を目指す建築士に対 する講義・演習	15人	
上通アートプロジェク ト2019 演劇まつり打合せ	3月29日	上通商栄会	翌年度の上通アートプロジェクト開催に向けての 第1回打合せ	—	
合 計				5,673人	

## 4 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための会議、講演会等

## (1) 美術館が行うクリエイティブなまちづくり研究

種 別	開催日	主催・共催者	内 容	参加者数
震災とアートマネジメ ント	6月10日	日本アートマネジメント学 会九州支部	災害で地域に大きな被害が出た際に、アートにで きることや、それを支えるアートマネジメントと は何かを考える。 県立劇場、アートNPO、現代美術館がそれぞれの 立場でその時必要と感じたものについて語りあ うトークセッション。	35人
公開シンポジウム 大規模災害時における 博物館の役割	7月5日	熊本県	国立文化財機構文化財防災ネットワーク推進室の 岡田室長をコーディネーターとして、日本博物館 協会、永青文庫研究センター、熊本県文化課、現 代美術館がそれぞれの立場から大規模災害時にお ける博物館の役割についてセッション。	100人
合 計	2回			135人

[受賞]

種 別	開催日	主催・共催者	内 容
グッドデザイン賞 「私の選んだ一品展」	10月4日-10月27日	公益財団法人日本デザイン振興会	2017年度グッドデザイン賞審査委員が選ぶ、個人的なお気に入りや気になる受賞デザインを紹介する展覧会に「丸尾の食卓展」が選出
	11月1日-11月5日	公益財団法人日本デザイン振興会	2017年度グッドデザイン賞に「丸尾の食卓展」が選出。東京ミッドタウンデザインハブで展示。
	12月6日-10日	Thailand Creative & Design Center	グッドデザイン賞受賞作品の中から、「丸尾の食卓展」が海外巡回展(チェンマイ)に選出
	1月27日-2月4日	Thailand Creative & Design Center	グッドデザイン賞受賞作品の中から、「丸尾の食卓展」が海外巡回展(バンコク)に選出
2017トリップアドバイザーエクセレンス認証		現代美術館がロコミ観光ウェブサイトトリップアドバイザーにおいて、過去1年間に渡り、5点満点評価のうち4以上を維持した施設としてエクセレンス認証された。	

[熊本市現代美術館外部審議会]

種 別	開催日	審議委員	内 容
外部審議会	10月15日	・原幸代子 (県文化協会専務理事) ・日比野克彦 (岐阜県美術館館長)	熊本市現代美術館の文化力推進について、地震を通じての体験を基本としてベースを考え、当館ならではの方向性を検討。
	2月20日	・村田真宏 (豊田市美術館館長) ・山出淳也 (BEPPU PROJECT代表)	第1回審議会の意見をもとに、熊本市現代美術館のアイデンティティについて協議・検討。